

令和2年度採択案件一覧

令和2年8月1日現在

■商工会議所関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	伝統野菜を活用した商品開発と販路拡大事業	伝統野菜活用協議会	尼崎商工会議所	「尼いもご飯の素」の販路開拓、尼いもと他の地域産品との連携商品の開発、尼いもを使用したフィッシュアンドチップスの普及活動を行う。
2	オール尼崎による尼崎城プラモデル化計画	プラモ尼崎城	尼崎商工会議所	尼崎城の開城を機に、更なる観光客誘致を図るため、尼崎城天守のプラモデルの開発、シャチホコプラモデルの販路開拓に取り組む。
3	カフェ文化定着事業	にしのみやコーヒーの扉プロジェクト	西宮商工会議所	「カフェ文化」を西宮に根付かせ、定着させる。また、自宅でスペシャルコーヒーを楽しむフードベアリングなど、新たなコーヒービジネスに取り組み、販路開拓・拡大を目指す。
4	地元素材「酒粕」「くすのき」をつかった新商品開発	自然をちからに	宝塚商工会議所	「酒粕」「くすのき」を使用した商品の販路開拓とブランディング、量産体制の整備、及び新商品の開発を目指す。
5	宝塚の「お宝」発掘プロジェクト	宝塚商品開発チーム	宝塚商工会議所	宝塚の特産品の融合や農商工連携、宝塚オリジナルブランドの認定を行い、新たな付加価値、また付加価値の高い商品開発に取り組む。
6	洲本市地場産業真珠核製造の発展	SHIMATAMA 島珠	洲本商工会議所	洲本市の地場産業である真珠核製造を衰退させないため、イミテーションパール「島珠」を特産品として認知されるよう活動を行う。
7	淡路島の特産品を活かした新商品開発	うまいもん淡路	洲本商工会議所	卸、農家、通販事業者等が連携し、淡路島の特産品を使って商品開発に取り組む。また、商品開発から販売までをワンストップで行う仕組みを作る。

■商工会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	キャンプ場活性化事業	佐用町商工会青年部	佐用町商工会	佐用町営の南光自然観察村キャンプ場の利用客を増やすとともに、町内施設や特産品をPRし、佐用町の地域活性化を目指す。
2	豊岡女子異業種交流事業	豊岡女子ラボ	豊岡市商工会	豊岡市内における異業種の女性事業経営者が横断的なネットワークの構築を図り、各々のレベルアップや観光産業の活性化、新分野のサービス開発等を目指す。
3	淡路島の地域資源を活用したプレミアム商品の開発	プレミアム商品開発委員会	南あわじ市商工会	淡路島の地域資源を活用したプレミアム商品の販路開拓と知名度向上、及び新商品の開発を目指す。
4	淡路島の特産品を活用した新商品開発	淡路島labo	淡路市商工会	淡路島の特産品を活用した加工品を開発する。また、生産者や卸、販売店が協同し、ワンストップで販売まで行えるビジネスモデルの確立を目指す。

■兵庫工業会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	ものづくり中小企業の経営力強化研究	ものづくり中小企業経営研究会	兵庫工業会	ものづくり中小企業の経営者等を対象に、経営課題に関わる有識者との意見交換・現場視察などの交流機会を設け、経営力強化や中核企業としての発展を目指す。
2	ものづくり地域連携交流事業	丹波・但馬・北播磨・淡路地域牽引企業グループ	兵庫工業会	遠方地域間での企業間連携を行い、相互発展、相互補完していくことを目指す。
3	製造現場におけるRPA・アプリケーションネットワーク研究	次世代スタンダード製造システム研究会	兵庫工業会	汎用性を持ったロボットコントローラーやそれらを統合運用するアプリケーション・プラットフォームの構築等による、工場内物流の省人化・負担軽減について研究する。
4	地域で輝くものづくり企業活動研究	地域企業活動研究会	兵庫工業会	求職者に選ばれるために様々な取組や持続可能なものづくりを行っている企業を「ベンチマーク企業」とし、参画者がベンチマーク企業の取組を学び、より魅力ある企業に成長することを目指す。

■兵庫県工業技術振興協議会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	ヘアケア剤&ヘアブラシ開発プロジェクト	ヘアケア剤&ヘアブラシ開発グループ	工業技術振興協議会	カラーヘアに特化したヘアケア剤とヘアブラシの商品改良、販路拡大を目指す。
2	防災を日常に！防災意識を高める新サービスの提供と食品の開発	守る未来・見直す日常・安心への道は防災から	工業技術振興協議会	「日常的に食べて買い足す」循環備蓄用防災チップスの開発、及び自宅備蓄の必要性等を防災訓練の場やネットで提供する新サービスを開発する。

■兵庫県中小企業団体中央会関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	神戸発・酒粕ラーメン開発事業～実店舗&流通向けカップ麺開発～	酒粕麺開発事業体	中小企業団体中央会	(株)北海が地域や料理学校、メディアとコラボレーションして新しいラーメンを開発する。合わせて、カップ麺の製造にも取り組む。
2	兵庫県特産品開発の会(HBSM)	兵庫県特産品開発の会(HBSM)	中小企業団体中央会	旅行先の土産物を手軽に自宅に送れる、またメールやSNSを通じて家族・友人等にカタログギフトとして送ることができるプラットフォームサービスを開発する。
3	暮らしの学び	暮らしの学び	中小企業団体中央会	地方での持続可能な暮らし方やジビエ料理の調理法を紹介し、サステイナブルな暮らしを普及させるために「暮らしの学び講座」のオンライン構築を目指す。

■ひょうご産業活性化センター関係

No.	事業名	グループ名	申請団体	事業内容・目標
1	漢字の部首キャラクターのコンテンツビジネス開発	かんむりひめプロジェクト	ひょうご産業活性化センター	開発済である漢字部首のキャラクター「かんむりひめのあめかちゃん」をバーチャル化し、SNS等で配信する。最終的には、広告収入のビジネスモデル確立と初等教育現場で教育コンテンツとしての採用を目指す。
2	ソーシャルインパクトを活用した企業価値向上とコンサルティングサービスの開発	ソイラテ	ひょうご産業活性化センター	先進事例視察を通じてソーシャルインパクトの考え方や活用方法を身につける。また、ソーシャルインパクトについてのガイドブック作成やセミナー開催を実施し、コンサルティングサービスを開発する。
3	新たな食材の保存技術の確立と保存技術を活用した新商品開発事業	新たな食材保存技術研究会	ひょうご産業活性化センター	様々な青果物に対応した新たな食材保存技術を確立することで、鮮度を保った状態での長期保存を可能とし、食材廃棄の削減に貢献する。